

麦類赤かび病に関する情報(第4報)

平成30年4月24日
香川県農業試験場病害虫防除所

麦類の赤かび病は、開花期頃の気温が高く、高湿度の日が連続すると多発生しやすいです。最も重要な防除時期は開花始めの頃とその7~10日後、となっています。

現在のところ多発生に好適な条件は出ていませんが(高松市)、気象の経過を考慮して防除回数を増減する必要がありますので、栽培しおり等を参考にして適期に防除しましょう。今後一週間の気象については、気温が平年並か平年より高く、降水量が平年並か多い予想です。

1. 麦類の生育状況

- 1) 農業試験場におけるはだか麦‘イチバンボシ’の開花期は、11月上旬播種が4月4日、11月中旬播種が4月9日、12月上旬播種が4月14日となり、平年と同程度となりました。また、小麦‘さぬきの夢2009’の開花期は、11月上旬播種が4月16日、11月中旬播種が4月21日、12月上旬播種の予想開花期が4月29日となっており、平年と同程度となっています。(表1：農業試験場作物・特作部門調べ)
- 2) 農業改良普及センター調べでは、地域によって差があるものの、はだか麦、小麦ともに平年と同程度となっています。

表1 麦類の出穂及び開花の状況(農業試験場作況試験圃場：綾川町)

麦種	品種	播種期	出穂期		開花期 ^{注2)}	
			平年値	本年 ^{注1)}	平年値	本年 ^{注1)}
はだか麦	イチバンボシ	11月上旬	3月27日	3月29日	4月3日	4月4日
		11月中旬	3月31日	4月2日	4月7日	4月9日
		12月上旬	4月6日	4月8日	4月15日	4月14日
小麦	さぬきの夢2009	11月上旬	4月2日	4月5日	4月16日	4月16日
		11月中旬	4月7日	4月11日	4月20日	4月21日
		12月上旬	4月17日	4月19日	4月27日	4月29日(予)

注1) (予)を付して赤字で示した日付は、綾川町における予想値である。(4月21日時点)

注2) 開花期は40~50%の穂が開花した時期を示す。

2. 気象経過と赤かび病発生条件の出現状況(別表を参照)

- 1) 高松市アメダスでは、4月23日現在、多発に好適な条件を満たす日は認められませんが、子のう胞子の飛散条件を満たす日が認められました。4月24日以降は最高気温が20℃以上、最低気温が10℃程度が1週間程度続くと予想され、降雨を伴うと赤かび病の発生に好適な気象となるおそれがあります。
- 2) 気象庁発表(四国地方)の週間天気予報(4月24日~4月30日)では、期間の前半は雨の降る日があり、24日から25日は低気圧や前線の影響で荒れた天気となる所がある見込みで、最高気温、最低気温はともに、平年並か平年より高く、降水量は、平

年並か平年より多い見込みとなっています。

3. 防除情報

- 1) 現在、赤かび病に適用のある薬剤は、発病前に散布しないと防除効果がないため、**早めに防除**を実施しましょう。**晩播き（12月中旬以降）の小麦は**、開花期が病気の発生に好適な条件（気温が高く高湿度）となるおそれがありますので、**必ず開花始期に防除**しましょう。
- 2) 開花期と開花後の気象に注意して、2回目の防除を実施しましょう。

表2 赤かび病の防除時期、防除薬剤等

	防除時期	防除薬剤	希釈倍数	使用時期／回数
1回目	開花始め頃	トップジンM水和剤	1,000～1,500 倍	小麦 14／2 はだか麦 30／1
2回目	1回目の7～10日後	ワークアップフロアブル	2,000 倍	小麦 7／3 はだか麦 7／3

（資料：小麦、はだか麦の栽培しおり。希釈倍数、使用時期／回数は平成 30 年 3 月 31 日現在）